

八ッ場ダム住民訴訟通信-152

2020年2月25日発行

新たな一歩を記すために

私たちの会は「みなさまの活動の記録」を刊行します。

昨年の12月7日「八ッ場ダムをストップさせる茨城の会」第15回総会は、取手市白山公民館で開催されました。当日は30人を超える参加者による活発な議論が交わされ、2019年度の活動報告、2020年度の活動方針などが承認されました。

ことにお知らせすべきは、茨城の会の記録「仮：八ッ場ダム裁判と市民～茨城の会会員かく闘えり～」の編纂・刊行です。

私たち茨城の会は、2004年の八ッ場ダム住民訴訟を機に発足、裁判を中心に活動してきました。2015年9月の最高裁の上告棄却の後、他都県の活動停止、あるいは方向転換がありながらも、茨城の会は水道問題、霞ヶ浦導水、常総水害裁判支援など、たゆみなく歩み続けてきました。発足から15年、一度これまでを振り返り、次の一歩はどうあるべきかを検討、ご参加者の賛同をいただき、前述の「茨城の会会員かく闘えり」編纂が確認されました(2020年度活動方針と手記のお願いをご参照ください)。

なお「茨城の会会員かく闘えり」は、一年をかけて「会員各位の手記」をいただき編纂いたします。その間に、新たなる茨城の会のあり方を会の名称も含め検討、発刊披露の場で、みなさまと話し合い確定する予定です。

恒例の特別講演は「茨城県の台風19号の被害」と「八ッ場ダムの今後」をテーマに嶋津暉之さん。身近な問題と、八ッ場ダム満杯の真実を語ってくれました。最後に総会アピールを採択。茨城の会は第16期へとまた一歩踏み出しました。

議案3 活動方針

私たちの会は、常に100名を超える会員の方々の強い意志もって歩んできました。一方で少なからぬ会員の方々を失ってもきました。私たちの会が誇るべきことは、亡くなられた方々を含めた会員お一人お一人の市民としての強い意識にあると考えます。立ち止まり、これまでの活動を省みると、会員の方々が市民として「いかに生き、いかに闘われたか」、そのことを記録することによって、会の記録としたいと考えます。第16期の活動は茨城の会の会員の方々の思いを編纂することを中心とし、以下のように活動を重ねて行きたいと思えます。

重点方針

・茨城の会活動記録

八ッ場ダムをストップさせる茨城の会会員の記録「仮：八ッ場ダム裁判と市民～茨城の会会員かく闘えり～」の編纂。

・水道の民営化に反対し、市民参加による新しい事業体の形を求めて行きます。

・ダム偏重の河川整備のあり方から、流域治水、耐越水堤防を核とした「命を守る治水」

へと、河川整備の方向転換を求めてゆきます。

- ・ポスト茨城の会の在り方を模索しつくり上げます。

基本的な活動

- ・ハッ場ダム完成後の地質など安全性をチェックし続けます。
- ・地方から水行政を正し、河川民主主義を確立するため、市町村議員との連携を進めます。
- ・地方議会議員の勉強会、あるいは一般市民を交えた勉強会を重ね問題意識の拡大を図ります。
- ・茨城県の水問題を考える市民連絡会の動きを強化し共同・共闘の輪を広げます。
- ・1都5県の仲間と手を携えて「利根川水系河川整備計画」を一から見直し、自然環境を重視した「利根川水系河川整備計画・市民案」の立案を進めます。

第15回「ハッ場ダムをストップさせる茨城の会」総会アピール

本年10月1日、ハッ場ダムは試験湛水に入りました。開始早々台風19号に見舞われ、その能力不足を露呈しましたが、2020年春には本格稼働に入ることが予想されます。

当初計画から68年、基本計画の策定から34年、利水にあっても治水にあっても、まったく意味をなさない巨大ダムは、吾妻川の景観を潰し、私たちの声を押し潰し、むき出しのコンクリートの塊となって、そびえ立っています。

私たちは負けたのでしょうか。私たちの闘いに意味は無かったのでしょうか。

先人の言葉が浮かびます。「巨大な権力に立ち向かうとき、立ち向かうことにこそ意味がある。敗れし者の屍(かばね)は、積み上げることにこそ意味がある」。私たちの屍は先人の屍の山に積み上げられます。そして、後に続く者がさらに積み上げることでしょう。その山は何時かあのハッ場ダムを凌ぐ高みに達し、国のかたちを変え、人々の人々のための政治を取り戻すものと確信します。

私たちは名もなき市井の民に過ぎません。その民が市民として立ち、16年もの長きを荒ぶることもなく、静かに、しかし粘り強く声をあげ続けました。我がことながら誇るに値するものと思います。

人の命には限りがあります。多くの仲間を失ってきました。その方々の志をも合わせ、人生の多くの時間を市民として生きた、私たちを讃えたいと思います。

私たちは市民社会の礎になります。礎として限りなく闘い続けます。

人の上に国をつくらず

2019年12月7日

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表:濱田篤信 船津寛
事務局:神原禮二 〒302-0023 取手市白山1-8-5 携帯:090-4527-7768